日刊
いわき民報
発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人　田原　登

金庫書庫
藤木林
平・かじ町電三六・四三

小名濱町長選挙を語る

本社記者座談會（下）

司會　街頭演説も活ぱつに行われているか

A　町議戦が定員二名に対し三名出れば町長選挙と二重奏となり相当活ぱつになるだろう

B　街頭演説では志賀と立花ではどちらが受けているか

C　弁説の型が違うのだ

B　この間の演説ではこんなことをいつていた、中々弁が速くてメモをとるにも骨が折れるんです、即ち「世界経済の窮極問題において教育問題における欠食児童の問題は事重大だ」といつたような調子で名論というが卓説というが私のようにカンのニブイ者には解らなくなるんです（笑声）

司會　人身攻撃は行われていないのか

C　実はそのことである團体が人身攻撃をお互にしないように、若し人身攻撃を行う候補者があれば批判をするといつた意味の申合せを行つたそうです

E　それは当然のことだろう

司會　然し実際には行われていないか

B　大部聞くね

司會　どんなことをいつているんだ、立花さんは夕テ板に水を流したような雄弁だし志賀さんは駄弁を省略して要点をしつかりと述べると云つたところだろう

B　立花さんの演説は定評があるからね、先ずあれ位お話が達者なら沢山だね

（写真は忙しい選挙管理委）

健全町政の擔當者
擁立の氣運高まる

C　先ず志賀の方からいうと清水屋閥だからその閥を倒せということ、またひどいところでは「志賀は貧乏人の票はいらない」といつたとか…

E　清水屋閥というのは小野県議を中心としたものか

C　そうだろう、然し小野県議が右を向けといつてそれに從う町議や有力者が果して幾人いるかどうかということだ、小野県議の利益のために動く閥は今の小名浜にあるかね、それは町民がよく知つている筈だ、また普戦の志賀が貧乏人の票をいらないといつたという話も本当なら大変な問題だがあの候補は苦しい戦の中にあつて例え乞食の票でも欲しいというのが本音ではないかね

A　立花候補の方はリコールのことや無職だといつたようなことを挙いわれるのを嫌つているようだね

司會　立花さんは無職だというがどうして食つているのか

C　息子さんの傍給や二、三の漁業へ投資しているので利益配当等で食つている、月收五、六万円から七、八万円だということを説明しているといつてますね

B　それについて町民税を調べた人があるんですね、志賀は何んでも六千三十円、立花は二千六百二十円で收入の割に税金の裏付けがなさ過ぎるというわけです、その話のうちには相当割引があるようだというわけさ

E　無職なら無職でいゝじゃないか

B　職業町長だといわれたくないんだね

C　全般的いつて志賀は〃若さ〃が魅力だ、立花は老練さが買われている、然し立花の方は永い町議生活で叩けばホコリも出るというわけだ、そこにそれぞれ人格の相違があるというものだ

B　或る町議がいつてましたね、「町長が悪いことをしないように町議がよく監視すればよいではないか」と町民から質問があつたんです、ところがその町議は「吾々多数の議員は町長を監視するのが仕事でない、そういう心配のいらない人を先ず町長選挙で選べばよいではないか」というんです

司會　なるほど

A　だがね、立花派ではこういつている、無職であるということはいつでも町長などの要職につくことが出来、然もそれに專念出来るような態勢をとれるというんです

D　それはき弁でないかな、どうも私の見たところでは平の市長選挙と似ているような気がしてならない、結論は人物本位で決めるべきで閥があろうがなかろうが、無職であろうがなかろうが本当にその人間が高潔であるならよいと思う、財閥の中にあつてもその人間が立派なものであるなら問題ないと思うんだ

C　それはそうだ、「正面者が馬鹿を見ない政治」こそ必要だと思うね

A　然し街を歩いて見ると随分色々なことを聞くね

司會　どんどん選擧なくいつて呉れ

A　某時計店問題、丸金という船主の問題それに…、どこまで本当かね

C　とかく選挙になるとうるさい

B　そうだ、先ず市制施行の促進工場誘致の強化、港湾修築の促進という三大政策をだれが町長になつても是非やらねばならぬ問題が待ち構えているからだ

C　そこで小名浜の町政に必要なことは〃人の和〃ということなんだね、町当局と議会が一体となつて進むべきで内紛をやつているときでないんだ、町の中が騒々しくなるとそれだけ小名浜の建設がマイナスになるということを認識すべきなんだね

A　志賀町長と立花町長ではどちらが適任かということか…よく考える必要があるわけだな

D　僕は易に興味を持つているので両候補者について聞いて見たんだ

司會　誰に？

D　平に来ている易者さ

E　あゝあの人か、僕も一寸聞いた

D　あの人は生年月日と人相で判断するんだが生年月日から見るとこういつている、立花は「偏屏を好み性情虎の如し」志賀は「思いがけない天佑支援がある」というA　結局どういうことなんだ

D　志賀には天佑があるというのさ、人相上からもこれに一致することが出いているというから…

C　とに角小名浜始まつて以来の大選挙になつたわけだが、これも志賀、立花の一騎打となつたからでこのほか一、二名が出馬すればこんな息詰るような戦とはならなかつたものと思う

司會　色々面白い話や思切つた発言に感謝する、何んといつても明るい町政の実現のため町民の一人一人がよく候補者の人柄を見て正しい投票を行うことが大切で厳正な批判をするように願つてこの座談会を終りたいと思います

二日目の平事件公判

平事件統一派百三十一回公判は昨日に続き十九日午前十時から地裁平支部法廷で被告七名が出廷してひらかれ、証人の大河原一次氏は当時の矢郷炭鉱労働組合を通べ、また柴田徳二氏は当時平市署内の紛争の目撃した模様を述べ正午一旦閉廷、午後一時再会され証人尋問が行われた、次回公判は二十五、六、七の三日間

今後の闘争方針を協議
廿日に磐炭労

磐炭労では二十日午前十時半から平市労働会館で第八回地方委員会をひらき炭労臨時大会報告、今後の賃金斗争方針などについて協議する、なお昨年から持越しになつていた十月以降新賃金の團交は二十二日から再開する予定で十六日東部鉱連側に申し入れた

出席者

司会　田原編集長
伊藤小名浜支社長ほか本社及び小名浜支社の取材記者

から普段の生活が物をいうようになるんだろうね

D　青年層はどういうふうに今度の選挙を見ているか

B　何んといつても健全な町政を担当する者を選びたいというのが実情でやないかな

D　婦人層は？

B　一般に関心は低いようだ、実のところこの動きが大切なんだが

A　勧め人も余り関心を表面へ出さないね

B　お役所廻りをして見ると他町村からの通勤者も多いせいかそれとも当りさわりのないように勧めたいためかさつぱりだね、この分では「志賀秀吉」「立花要平」になつて仕舞うとボヤイている連中も多い

司會　話は変るが町議戦に出る小野、竹田の両氏は表面切つて町長候補を支持していないか

C　それは二人だけの場合は問題ない、恐らく保守系から一、二名出るんでないかな、無競争を策したのは町長候補が社会党の票を獲得するために打つた手で立花派は絶対町議選に出馬させないということを社会党方面へいつたようだしその辺に所謂政治的な含みを持たせているのではないか

B　どうも政治的には掛引があるようだね

D　戦略というか作戦というかそういう点では志賀派はおとなし過ぎる

A　志賀派は紳士的に行こう、大道を歩もうという空気が選挙事務所を支配しているためかね

司會　これから小名浜の町政を背負つて立つということは小名浜の百年の計を立てる意味でも重要なことだと思う

小名濱議會

小名浜町では急施町議会を十八日午後一時より町役場議場で開き、去る十六日起工式を挙行した新日本化学工業株式会社工員住宅建設敷地斡旋方について協議した結果総務委員会附託と決定直ちに閉会した

人事消息

◇東邦銀行平支店長代理橋本秀孝氏は郡山支店長代理に栄転廿二日午前八時卅五分発で赴任する

◇大泉信雄（石城地区地教委連絡協議会長）山名隆貞（同副会長）長谷川政（同県評議員）安部井亥（県教委石城出張所長）の四氏は二十一日浜三郡ブロック地教委連絡協議会出席のため浪江町へ出張二十二日帰平する

◇沼田一夫氏（内郷町長）外六名は二十日山口県宇部市の都市計画および低品位炭利用状況視察のため出張二十七日帰町する

◇相沢佐内氏（平税務署間税課長）二十、二十一の両日、仙台国税局で開かれる間税課長会議に出席のため十九日出張

天気予報

十九日
【今晩】北東の風曇りがち一時小雨
【明日】北東の風初め曇りのち時々小雨、海上今晩多少風波がでる、明日は段々風波が高くなりシケ気味となる恐れあるから漁船は注意

澤田庫之助（清川）儀病気の処一月十八日午後十時二十分永眠致しました生前の御交誼を謝し此の段謹告致します
追つて葬送の儀は一月二十一日午後二時自宅において神式により告別式を致します
昭和二十九年一月十九日
田人村旅人字井戸沢三〇
男　澤田一良
親戚総代　児玉邦太郎

父大形茂次儀一月十八日午後九時急逝致しました茲に生前の御交誼を謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は来る二十一日午後一時自宅にて神式により相営みます
昭和二十九年一月十九日
平市木槌小路二五御殿敷城心明教会
喪主　大形新一
外　〃　妻　大形勝利
親戚　大形志づ
信徒総代　一戚一
同　同

裏磐梯撮影會作品展
1953年富士フイルムコンテスト展（東北の部）
出品數　200點
期　日　1月23日（土）二日間
24日（日）
會　場　平市三丁目　三幸階上
賞品授与式　1月24日午後一時より
主催　平・石城寫眞材料商組合
富士フイルム株式會社

絶對のチャンス!!　暖冬異變超安値!!　20日發表!!
紳士婦人オーバービックリ大奉仕
☆東京有力問屋さんの協力を得て一流メーカー商品を取揃えビックリ大奉仕値段で發表致しました☆

紳士用
☆平支店賣場發表
2900円を……2300円に
4800〃……3500〃
7800〃……6300〃
8500〃……7000〃
9800〃……7800〃
15000〃……12000〃

婦人用
☆大丸店・平支店賣場發表
4300円を……2900円に
4800〃……3300〃
8500〃……5300〃
9300〃……4800〃
6800〃……2900〃
6300〃……3950〃

小名浜本店　金坂店　大丸店　平支店　平店

常に皆様の利益を護る店
大黒屋

タコ部屋より辛い
投書により實態調査

十九日朝平労基署に「タコ部屋以上に苦しい水産加工人夫の実態」を綴った涙の投書が配達された、差出人は税作にあえぐ農村から江名町に出稼ぎに来た二青年で、同署では投書をもとにハマの労基法違反事件に徹底的なメスを入れることになり二十三日江名、中之作鴨海産商組合長を呼んで実情をきくことになった、投書の内容つぎの通り—

署員の皆様日夜私達労働者のために労使仲良く社会発展のため貢献できるよう御指導下さいますことを私達一同感謝しております、本日突然御便りしたわけは私達は今年の凶作がたゝり江名町に水産加工人夫として出稼に来たものですが、毎日港で他の加工人夫と話合いその日その日を悩みと悲しみで働いております、私達は朝五時にたゝき起され夜は残業で十一時ごろまで働かされます、昼食休みもなく寒い朝でも火を焚くことが許されません、私達は何時間働かされてもかまいませんからせめて寒い日だけでも朝と昼休みと夜業のときぐらいは火にあたらせてもらいたいのです、親方にお願いしたらせいたくいうなの一言ではねつけられてしまいました、私達の生活はまるでタコ部屋以上です、会計も月々もらえば郷里へも送金出来るし自分のものも買えるのですが親方にお願いしたら会計は仕事が終つてからだと申します、仕事の終りは五月だそうです、家へ送金しないので親からは親不孝者と手紙で叱られ私は毎日どうしたらよいかと悩んでいます、親にそのことを便りしても今の世の中で半年も会計しなかつたら生活出来るかとまるで私が無駄使いしているようにしか見てくれません、親方に借金を頼んでも無いと断わられ給料額をきいても教えてくれません、他の加工場の人夫は昨年の会計ももらつてないという話です、旧正月にでも会計してもらわなければ帰郷も出来ません、こんなところが県内にあると思うと残念です、私達を助けて下さい

未亡人大會
來月に開く

石城、平母子福祉会（未亡人会）は十九日午後一時から平市公民館でひらき石城、平母子福祉大会を二月上旬に開催することを決定した、同大会は未亡人の経済的自立と相互援助を高めるもので講師をもき盛大に行うことを申し合せた

バチマグロなど水揚げ

宮城県気仙沼港所属第十福吉丸（二二〇トン）は十九日朝小名浜魚市場にバチマグロ百貫、メカジキ四百貫、ヨシキリザメ千五百貫を水揚した、浜相場は貫当りバチマグロ千百円から八百五十円、メカジキ六百五十円から五百五十円、ヨシキリザメ九十円だった

盛會を極む
春季素謡大會

宝生会春季素謡大会は十七日午前九時半から市公会堂日本間に開いたが、中央から宝生英雄、佐藤蔵、武田寛永、佐野崩の各師を招聘、素謡、連吟、仕舞などひ饗、参観者も多く盛況だった

（写真は素謡＝後寛＝）

寸評

細面の純日本的な顔立ち何かもの言いたげな眉をかしげた表情がパツクのライトが性格づけ自然なポーズでとらえられているが、この面立ちなら着物の方がふさわしい、人工光線の使い方に無理があり顔面にハイライトを失いくらい性格に印象すけ、瞳の美しさも出ていない、明るい洋服にマツチした明るさが面立ちの中に欲しかつた

合併案協議
來る廿三日

石城地方自治権立推進審議会は二十三日午前十時から石城地方事務所にひらき県審議会委員愛文治氏ほか三名が臨席して、前に提案した九ブロツクの町村合併について各ブロツク毎に協議した結果を聽き県の意向を進言し、合併促進策を協議する

私の傑作
ポートレート
高橋　登

ふと、みた女だつた、とぼけたような魅力がぼくの心をとらえた、ぴちぴちした若鮎のような女、そのうち女が食堂ではたらいていることがわかつた「一枚とらしてくれ」と頼んでみた、最初は悲鳴をあげて逃げた、しかしなれるにしたがつて接近してきた、そこで再び一枚ということになりとらしてもらつたのがこの写真、一寸かたくなつているがこれがそのときの彼女の精一杯のポーズ、私の傑作というのはおこがましいが、最近とつたものの中ではいゝ方だ

アイレスフレツクス・F五・六十分の一秒　フジネオパン　室内二百五〇W電球三個使用　D七六

（内郷町）

遠街
宮森明夫　丸山久壽畫　41

娘がうつとおしい顔をしているので、母のお夏まで心が晴れなかつた。母一人娘一人のさゝやかな夕食をすますと、美夜子は本を読みはじめた。リルケがこよなく愛読したという〃ぼるとがる文〃だつた。女の美しい恋情が心に泌みた。お夏はなんとか話かけようとしてためらつた。美夜子は母のため息を背中に聞き、切なくなつた

「母さん、今日、津田さんと会つたの、街で」

突然だつたので、お夏はでかゝつたため息をあわてゝのみこみ、召しあがつては」

「聞くものですか、あたしの忠告なんか。だつて、津田さんの理想、酔つてどぶに落ちて死ぬことなんだつて」

「へえ、立派な理想もあればあるものね。だけどいやだよ、そんなへんてこな理想、不吉だよ、ほんとに、とんでもないことだ」

美夜子も母の話を聞いているうちに、ほんとうにそうだと思い始めた。今まで他人ごとのような気持で、たゞ笑つていた自分が恥しくなつてきた。

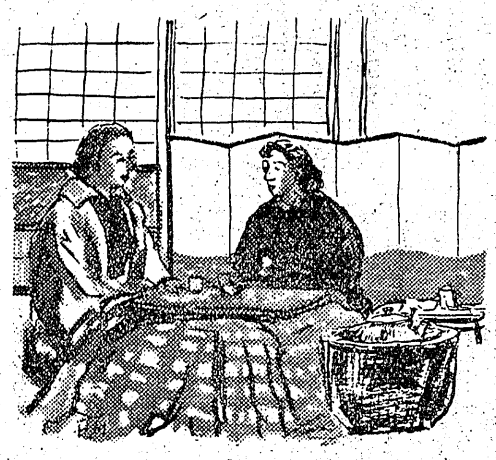
「父さんも、お酒さえやめりやもつと長生きしたんだよ。お医者さんがそういつていた」

また愚痴がはじまつたと、美夜子は思つたが、母の心はわかつた役人をしていた父は、三年前に脳溢血で亡くなつた。酒が好きで、酔うと陽気になり、おどけた真似をしてみせ、母娘を笑わせた。手品などもなかなか上手だつた。美夜子は父がよくハンカチーフの中から飴や菓子などをとりだしてくれたのを今でもありありと覚えていた。やさしい、いゝ父だつた。母は、亡父を想いだすといつでも涙をこぼした。美夜子は眼頭が痛くなつた。

「母さん、誕生日の御獻立、あたしにまかして」

「だつてお前、大丈夫？津田さんに叱られるよ、お前の料理は素晴しいんだから」

母娘は顔を[illegible]て吹きだした

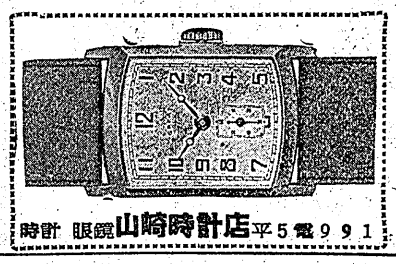


ナショナルラジオを6回払いで！　代行店　三幸

関花亭のパン

14金ペン付　エリオット高級萬年筆　平市才槌小路電313　魁文堂

ラジオは藤越


時計　眼鏡　山崎時計店　平5電991

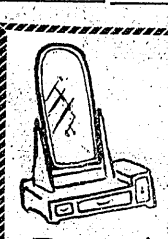
貸ふとん　新川町　スズキ　電四三二

タクシーは　小型増車しました　デンワ　六八五番へ　三井タクシー

質　旧城跡　電二二九九　金古

特撰　伊勢甚坂牛　平市銀座通電二七一　マルヤ

診療科目　外科　整形外科　内科　産科　婦人科　レントゲン科　健康保険　労災保険　生活保護法　結核予防法　優生保護法　指定医　医療法人　植田町番所下六五の一電二〇二三六五　新設　泉舊藩診療所　泉町大字泉字泉二〇一電二四　櫛田病院


御婚禮家具　漆器　事務用家具　☆季節の家具　特別陳列中　▽…遠近に拘らず無料配達奉仕　店商　定指　社会　部資　業物　工局　素材　水管　日本水鉄　あるが　平・御座通り　電223

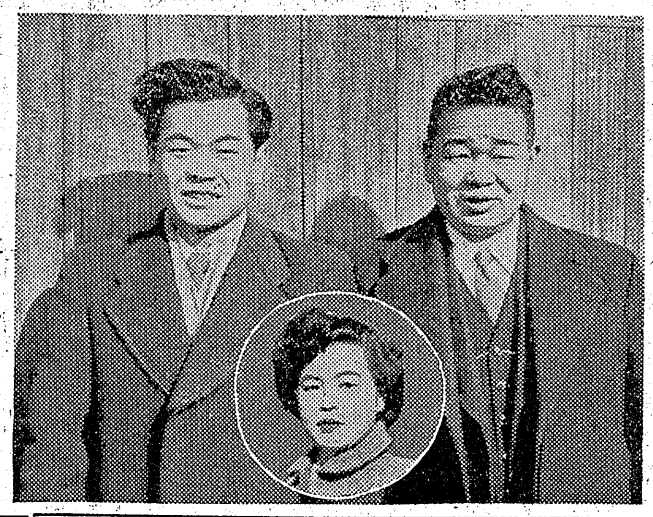
強くて　ひょうたん印　ばきよい　ひょうたん印　ゴム長靴

眼科　安田醫院　平市紺屋町八（電一二三五）

満洲から引揚げ 弟妹四人を養育

小林保昭君の敢闘物語り

両親に死なれ手足まといの弟妹四人を引連れ着のみ着の儘で満洲から引揚げ、頼る親戚とてない見ず知らずの平市にきてザット八年間、苦しい生活と力強く斗いながら弟たちを学校にあげやつと就職させ、妹はつい最近、縁あつて結婚することに決まり、長い間自分の青春を投げうつてこの弟妹たちの成育に親代りの面倒をみてきたという感心な青年があり近所の評判を呼んでいる



（写真は左小林保昭さん、右松浦さん、円内が慎子さん）

○―題の主は平市五色町二八市営アパート東寮に住む小林保昭さん(二三)で終戦の翌年である昭和二十一年七月、戦後のどさくさ時代に満洲の奉天から妹慎子さん(二四)＝当時十六才＝弟の光彦君(二二)＝当時十四才＝清和君(一〇)＝当時十二才＝幸一君(当時十才、平市にきて死亡)の四人を連れ、叔父の一家と共に引揚げ一時この叔父の実家である石川郡浅川町にきた、急に叔父が冷淡となつたゝめ三日目でこの住家を引揚げ、西白河郡釜子村にいる父の妹さんが嫁いだ叔父さんのブドウ園をたよつて移り住んだ、こゝで一カ月間世話になつたが何時までも叔父の愛情にあまんじているワケにはゆかないと決意し、保昭さんは単身平市にきて職探しを始めた、自分が何んとか職をみつけて落つけば弟妹を呼んで世話しようと計画していたことだつたが、見ず知らずの他国でしかもどさくさ時の平市には住む家とてなく、まともな職などとても簡単に見当たらなかつた、腹はペコペコになる、泊るに家なく一人悪運に瞼をぬらしていたところある人の紹介で平市二丁目松浦酒店主人松浦直悦さんに親身の世話をうけやつと鍛田町にある木賃宿を見つけてもらつた、就職のことも心配して酒職人の見習として自分の店に勧めるように骨を折つた、希望を与えられた小林さんは早速弟妹を呼んだ、これから自分の腕一本でこの家族を養わねばならぬと思うとその決意は強固にならざるを得なかつた

○―それからの小林さんは真面目に働いた、家にいるときは弟妹の面倒をよくみた、生活扶助などはてんで受けようと考えなかつた、弟の清和君が中学、幸一君を小学校に入学させ、一人前に通学させたが弁当などのおかずにも相当苦労した、でも弟たちは苦しい家庭の事情を知つて決してひがまなかつた、妹の慎子さんは家庭の一さいをきり廻し、自分の青春がどんなに苦しい生活の中にあつても決して不幸だと感じたことはなかつた、映画など長くみないと見なくてもいられるが、兄が主人からもらつてきた招待券をやつては余暇の楽しみを与えてやつた

○―木賃宿は忘れたころやつてきた幸一君が修学旅行にゆくため苦しい生活の中からいろいろ準備をすゝめ、いけるばつかりになつていたのに突然この世を去つてしまつた、昭和二十七年六月一日の出来事だつた、平市三丁目の大通りでトラックにはねられたのだがこの時には松浦さんや弟光彦君の勤めている三丁目鈴勘の主人が心配し、加害者から慰藉料(三万円)をとつてやるほか葬式も全部やつてやつた、常日ごろの真面目さがこんな時に世間のたすけを得るものだつた

○―今では清和君も中学を卒業し七丁目の金成洋服店に住込みとして就職した、光彦君は満洲で学校を出てきたので平にきてからすぐ三丁目の鈴勘に矢張り住込みでつとめたがその後、慎子さんもこの手すると鈴勘につとめた、一家全部働くようになつた、これから先は幸福に満ちていた

○―木賃宿から五色町のアパートに住んだのはこのアパートが出来たときで松浦の主人は常に力ゲになり、ひなたになつて小林君一家の面倒を見護つてきた、親味もおよばぬこの愛情はとうてい他人としては出来かねるものだつた、慎子さんも年ごろになり、勤務成績も真面目で松浦さんが心配し親戚に結婚の話を申込んだ、これはすぐ決まつた、弟たちは大よろこびだし、いまゝでそれぞれ貯蓄した金を出しあつてダンスやミシンや鏡台などを姉のためにおくつた、自分の青春を犠牲にして働いた姉のために当然なことをしたとはいえ世間の人達は痛く感心した、特に清和　は生来の耳の悪いのを治すためにコツコツためた金で高価なミシンをかつてやつた

○―との結婚には松浦さん夫婦が親代りとなるが鈴勘や金成洋服店の主人も親味の協力をおしまなかつた

下旬から寒くなる

三月までの天気豫想

小名浜測候所では一、二、三月の長期天候予想を十八日次の通り発表した、気まぐれな暖冬異変がたたりこれが検討されていたため例月よりおよそ十日ほど遅れて発表されたもの

【一月】▼気温、中旬末から下旬初めごろにかけてはやゝ強い低温があらわれ又下旬は平年並(二度二分)だが今までよりは低温があらわれやすい見込み、一月の平均気温は二度四分▼降水量、平年並(四十一㎜)の見込み【二月】▼気温、上旬は平年並(二度四分)やゝ低目に中旬(平均二度八分)と下旬(平均三度二分)は平年並かやゝ高目に経過する▼降水量、だいたい平年並(八十四㎜)だが降雪の多い時期は上、中旬ごろの見込み【三月】▼気温、月平均では平年並(五度)がやゝ高目▼降水量、不確だが平年よりやゝ多い見込み(平均百一㎜)

水産高の練習船 "福島丸"進水式

きょう塩釜で挙行

県立小名浜水産高校漁業練習船福島丸(二二〇㌧)の進水式は十九日午後三時から塩釜市東北ドックで挙行された、この日同校からは安達校長初め岩谷漁ろう主任、漁ろう科三年生沼田健二君ら生徒代表五名並びに及川正校PTA評議員らが臨席した、同船は船体長さ三十七米六十五、巾六米六十、方三月中旬完成の予定

向、漁群探知機を初め科学の粋であるレーダー、可変ピッチ推進器を備えたモデル実習鋼船で実習生二十名、一般船員二十五名が乗り主にインド洋、アンダマン諸島、ハワイの南西海上の遠洋漁業に従事する、船長には山口祐一郎氏(三)が決定した、総工費は六千万円

娘が家出行方不明

四倉町新町三五北村福次さん(六二)の二女福江さん(一六)は十八日午後六時ごろ何者かに呼び出され平へ行つて来ると出かけたまゝ行方不明となり、十九日福次さんから平地区署に捜索願が出た、福江さんの恋人千葉県山武郡鳴浜村本須賀三八四一の五七小倉光雄さん(三)も同日家出しており同行したのではないかと見られている、福江さんは現金六千円を持つている

優良者表彰

内郷地區署

内郷地区署では十九日午前十一時から優良署員の表彰を行つた、受賞者次の通り

▼犯罪検挙優良者鈴木松三郎、小林武雄、棚部正一▼交通取締優良者遠藤光一、佐藤栄助、笠原恒吉▼努力賞鈴木松三郎、関兵衛

齋藤勞働次官 あす來平

労働次官齋藤国吉氏は明廿日午後一時磐列車で来平、問題になっている労災病院建設敷地、補償所の敷地等を視察、平職安所から労働状勢を聴取、同日午後三時十一分発下りで富岡に向うことになつた

▼職務質問優良者遠藤光一、棚部正一、池田吉輝▼事務成績優良者井治乗男、小林久光▼防犯警察優良者本田清美、斉藤由房

現金十万圓 車内で盗難

東京都中央区日本橋両国二両国薬K出張員宇佐見正紀さん(三)は去る十五日常磐線上り三〇列車(平発十七時二十八分)内の仙台一日立間でいねむり中、抱いて持つていた手提カバンから現金十万円を抜き取られたと十九日平鉄道公安室に届出た

はねられ重傷

十八日午前十時五十分ごろ内郷町内町字金坂五採炭夫坂内勲一さん次女妙子さん(六)は綴駅前バス停留所前で常磐交通バス＝運転手高木定通さん(四〇)＝にはねられ、右大腿部骨折全治四十日間の重傷を

覺醒劑押收

湯本で急襲

湯本地区署では十九日朝七時ごろ同町宝海無職青木宗夫(三四)宅ほか二軒を急襲、家宅捜索を行い覚醒剤ヒロポン注射液五CC九百九十四本(一万九千円相当)を押収した

上荒川に火事

十六日午後四時半ごろ平市上荒川大字林作一四八農島田正信(三九)さん方風呂場から出火、一棟二戸(十七五坪)を全焼した、被害は島田正信さん家族八人、隣家の島田正子さん家族二人、損害二十万円

湯本だより

◇湯本町観光協会では二十日午後六時から役場会議室で二十四日自治会館にひらかれる第七回NHK全国のど自慢コンクール浜通り予選大会ならびに湯本小唄発表会の準備について打合せる

◇湯本町商工会では二十日午後一時から公民館でレクリエーションを行う

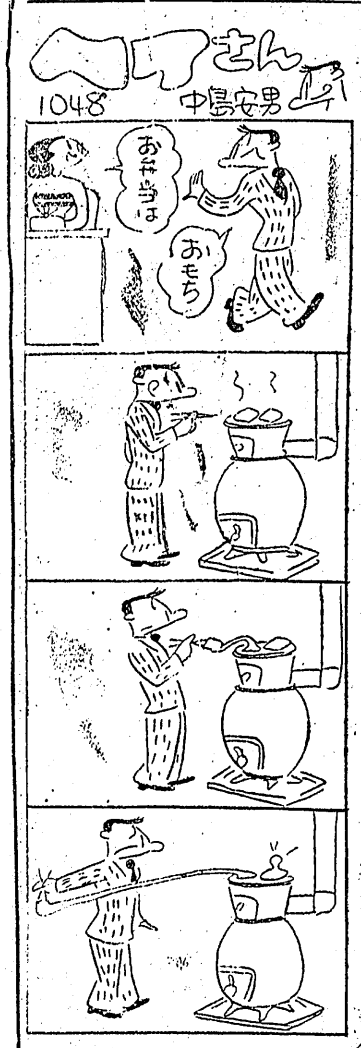
◇湯本町スクエアダンスクラブ駒草の講習会は二十一日午後六時から公民館にひらく、講師は磐崎鉱の山崎正三氏

◇湯本町公民館のレクリエーション部会は二十五日ひらき一月行事と二十九年度運営方針について協議する

◇湯本町公民館図書部では二十六日午後六時から独立図書室建設期成同盟会結成準備について協議する

◇湯本町青葉サークル＝夜明け＝では十八日レコードコンサートをひらいた結果系統的に曲目を選び運営することになり二月三日午後六時から歌劇の選定を行う

◇湯本二小では学御発布八十周年記念学芸会とピアノ披露を兼ね三十、三十一の両日午前九時から常磐炭鉱自治会館にひらく、三十日は児童、三十一日は一般に公開する



運命相談
長又北龍子
当座鑑定 百円 二年間の運命詳細鑑定 二百円他に絶対に申受す
推薦の辞
北龍子君の鑑定は実に卓抜明快他の追従を許さず其研究する四柱推命学は的確無比にして旧来の手相や人相姓名学の如き幼稚なものに非ず人間の前途を鏡に写して見るが如く正確明瞭に解る恐るべき術学である
福島県会議員 木田森之助
三翠流華道創始者(平市) 先崎翠峰
東部産業株式会社取締役 平商工会議所議員 岡田不二 外多数
一月二十日より二十六日迄小名浜町下明神町八坂神社隣於山大旅館(夜は八時迄鑑定)

牛乳と自然 ジャムと藤越 電話7282

電話四九四番 一般建築材 建具材 阿部材木店 平市紺屋町

丸石の自転車一台で100万円あたる！ 50周年記念景品付大売出し
期間 3月31日
特賞 百万圓 一本
一等 マツダ五四年式一屯積三輪トラック 一本
二等 東芝電機洗濯機 十八本
三等 扇風ミシン 三〇本
四等 マツダ五球スーパーラジオ 三〇〇本
五等 旅行用ポストンバック 二〇〇〇本
等外 記念品
等外記念品は自転車御買上の際もれなくお渡し致します
抽選発表 五月上旬
平地區 丸石會
▽…自転車は丸石の自転車販売店でゼヒ御買求めの上百萬圓の幸運をお当て下さい
その外豪華な景品が沢山あります
平市才槻小路 矢野輪業
平市月見町 佐藤自転車店
平市南町 小野自転車店
平市研町 吉村自転車店
平市北目町 野木自転車店
平市下平窪 鈴守自転車店
赤井村日曽前 鈴和自転車店
好間村中好間 木田自転車店
内郷町宮 古川自転車店
四倉町新町 みやこ自転車店
夏井村藤間 木田自転車店
高久村馬場 戸部自転車店
小名浜町松ノ中 北郷自転車店
小名浜町大原 鈴木自転車店
湯本町八仙 小谷自転車店
植田町本町 芳賀自転車店
上遠野村 渡辺自転車店
川前村駅前 日進堂自転車店

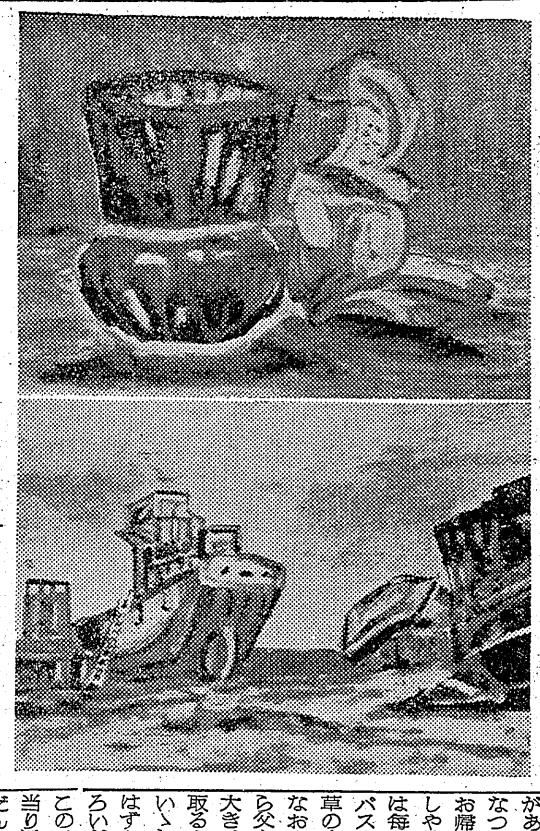
募集
牛乳配達二名 年令二十四、五才まで 市内居住 委細面談
平市北目町電一九三一 鈴木牛乳店

業務擴張のため 契約部社員 男子 女子 数名
年令三十才以上高卒 特に外務経験者を希望 履歴書本人持参のこと 固定給 歩合給 面接の上決定
日本建物株式會社 平營業所
平市大町三電五八〇
管内出張所 湯本町天王崎二六 鎌呼二五一 四倉町本町電二七六

百圓の品には百圓拂うこと
定価のないもの百円以下の品に百円以上お払いになっている方があります。これは大変な損です。こんな場合は信用第一の藤越でなら支払金額以上の良品が求められますから全く安心です
ハンドバック二五〇円より
学生手提 四二〇円〃
ボストン 四九〇円〃
藤越 小名浜 平市

○喜多流 謡曲 仕舞 お稽古 毎週月 水 金 平市田町六九電一二七
○幸流小鼓 白土稽古舞台

写真



静物　一年　石山幸久　　造船所　二年　米本健一

生垣

二の八　伊藤歌子

何月ごろだつたろうか。会社の人が来て各家の周りに玉椿の木を植えて行つた。これは台風、大風に倒れこわれる塀をなくし生垣で家を包み、落ちつきのある美しい緑の社宅にしようという父の案から出来たものだそうだ。緑の社宅…私はよく散歩に出て、家の周囲に父のせいぐらいのきちんと幅、奥行、高さもそろつた青々とした垣根を見て、うらやましがつたりほめたりした。社宅は規則正しく並んでいる、その囲りを緑の生垣で囲んだら…。家のまわりの石垣と塀の間の五十センチ位の所にこの玉椿が植えられた。まだ小さく竹色つぽい葉を持つた可愛いらしいものだつた。家庭会議で一家そろつて木を立派にそだてようと満場一致で可決され実行にうつされたそばの川の底の黒い土を取つて根の周りにかけた。これは母の意見だつた。日曜日に根元から十五センチ位の所にみぞを掘つてお米にとぎ汁を毎日かける事にした。これは女中の日課である。草を取つたり一致團結して世話をしたかいがあつてとても生き生きと立派のなつてきた。又は毎日会社からのお帰りに、よその木を見ていらつしやる。母も姉も弟も女中も、私は毎日なるべく我家の見える方にバスの席を取り遠くから鑑賞した草の中に、木らしき物があるようなお宅が多い。夕方草を取りながら父とお話した。「お父様、木が大きくなつたら塀を取る。一回に取るよりも木の立派な順に取るといゝわ、いつまでも塀のあるのははずかしいもの」「それはおもしろいがそこまではまだまだ、そうこのぐらいかな」と御自分の目の当りに手をおやりになつた。だんだん大きくなつて一かたまりの緑になつた。塀の横板が生長を妨げるので切つてやつた。何といつても九月初めごろ虫に蹂われた時は大さわぎだつた。もう十一月中旬十二、一、二月この木の上を雪がかぶさるだろう。三、四、五月又つるつるの葉が出てくる、そして又虫がつく…毎年毎年同じ事が繰り返えされてだんだん大きくなり私のあのあこがれの緑で我家を包んでくれるのは何時ごろかしら…

母の思い出

二の六　遠藤愛

私の一番すきな母が死でからもう三年間の月日が流れた。私の生まれたところは小笠原島である。三才のころ、母は元気で私の遊びあいてだつた。ある日は海岸で貝やカニを取つて遊んだ。ぱなな林でかくれんぼをした時のことが、今でも目にありありとうかんでくる戦争になつて、私達は引あげてきた。私が平にきたのは五才だつた。きたところは寒い寒い冬だつた。私達のいた島は、冬などはなく日本が冬の時は、なす、かぼちや、きゆうり、トマトなどがとれる。私はこんなに寒くてたまげた。そのため、母は風邪をひき、ねてしまいむりをして起きて働いた。夜は今夜、荷物をはこぶのに、久の浜にいつた。平の駅で、汽車のくるのをまつている時の寒さはわすれることができない。十二月の終りごろ、雪が降つた時は、私はさぞうだと思つた。さぞうが、外にたくさんおちているよといつた時、母は笑いながら「これは雪だよ」と教えてくれた。戦争は終り、私は小学校の一年生になつた。あまりはたらきすぎ、母は病気になつてしまつた。入学式には父といつた。皆なは、母の手につかまりながらくるのをみ、うらやましかつた。朝は父と私でごはんをたいた昼は藤沢さんのおばさんが、母にごはんをやつてくれた。夜は私一人ですいじをした。そのつらい働が六年間つゞいた。皆が遊ぶのを見ても、見ないふりをしていた。夕方は、二日に一回くすり取にいつた。母は帰くると「すまんねよし坊」と口ぐせに言つた。時々母は、小笠原に帰りたいなどと言つていた。そうしているまに、母の病気は悪くなるばかり、そうして昭和二十六年の夏はすぎ、秋がきた。九月九日の夜、母は重病になつた。横浜、東京から客がきた。夜間、医しやをよんだら、先生は「こんばん一ばんですな」といつた。その事をきいてかなしくなつてしまつた。一ばんかんびようして五時ごろ母はくるしそうに「すまなかつたな、すまなかつたな」と言つて目をとじてしまつた。私はないてもなみだがとまらなかつた。朝はお客さんがたくさんいたので私もいそがしかつた夕方、私は二階でないているうちにねてしまつた。ゆめをみていたそのゆめの中では母が元気で働いているゆめでした。おこされたのは夜の九時ごろでした。雨は、しとしと降つていた。やいたので、骨を持つて久の浜でおそう式をした。私の最後の運動会もできなかつた。朝、せんとうをあげる時、母がいたらいゝんだがなと思う。ほんとうにいゝ母だつたな、と思つている。

高校生募集定員

一應昨年とほぼ同數

県教委では二十九年度の県立高校六十四校の募集定員を内示した、これによると今年は二十八年度予算の編成が遅れているため学級増加の見通しがまだつかないので一応昨年とほゞ同じ定員で募集し予算が決まつてから正式な定員を決めることになつている、本郡関係つぎの通り

▼全日制　磐高四〇〇、小名浜二四〇、湯本二〇〇、四倉一五〇、内郷一〇〇、磐女四〇〇、磐農二〇〇、同農業部八〇、平工二八〇、平商二五〇、小名浜水産九〇、勿来九〇

▼定時制（カツコ内は夜間部）小名浜（五〇）湯本（五〇）四倉（四〇）内郷（一〇〇）同好間分校四〇（四〇）磐農一〇（平工（五〇）勿来（四〇）平二高二〇（一〇〇）

▼短期産業課程　四倉六〇、同大野分校二〇、磐農農業部四〇

幼稚園職員試験

湯本町教育委員会では二十二日午前九時からこのほど完成した浅貝幼稚園の職員採用試験を行う、採用人員は五人で筆記および面接試験を行う

湯本映畫教室

湯本町映画教育連盟主催の映画教室は十九日から二十五日まで次の通り行う

▼十九日一小▼二十、二十一日二小▼二十二日二十五日一中二中

プログラムは郵便、町と下水、メトロニユース　金の玉子、サーカスボーイ

營業寫眞研究會

廿三日に開く

平、石城写真材料商組合では窪土フイルムKKの塚本技術部長を招き、二十三日午前十時から平市田町三光写真館で營業写真研究会を開く

電話座談會

植田で開く

植田町消防團では十六日午前十時から公民館で植田町郵便局の電話交換手を交えての座談会を開いて通話上について意見が交換された

結核死亡者

内郷で調査

内郷町役場では二十七、八年度の乳幼児および結核死亡者数の調査を行つていたがこのほどまとまつた、乳幼児死亡数は二十七年度二十五人、二十八年度四十四人で先天性弱質、消化不良、肺炎などが死亡の三大原因になつている、男女別にみると二十七年度男十五人女十人、二十八年度は男二十八人女十六人、なお結核死亡者数は二十七年度二十八人、二十八年度十八人で男女別にみると二十七年度男十五人、女十三人、二十八年度は男六人、女十二人となり年々減少している

結婚の簡素化

廿一日に放送

小名浜町第一婦人会長松田美枝女史は二十一日午後一時二十五分からの「婦人の時間」に十五分間NHKのマイクを通じて〝結婚の簡素化〟について県内放送する同町の公民館結婚式の普及その他について語る

『馬上』

本多朝忠

埋れる心よ—
うつ價の砂塵を
路傍の牛間の
面上にたたきつけ
馬心狂へ共
立髪にしがみて
馬上の紳士が
ピエロとなりて
嘶る勿れ。
埋れる心よ—
いち早く
高原のかなた
馬上[illegible]て

『ほほえみ』

黄金の聖えんみなぎらし
水平線上
まさに
霊鷲をしたがひ
暁斗としつたして
萬生の頭上に
君臨せんとする
太陽の燦光の中に
馬を下つて
礼仰せよ。

ほの暗きところ
たゆたうごとく
ふし多き若杉の
柱に支ふるは
亡き聚の
のこせしバラソル
かひなくも
うつろなる
色あせしほほえみ
あわれ
幸せの光の中に
開く日とて無く
窟に詫び立つ。

二九、一（彫刻家）

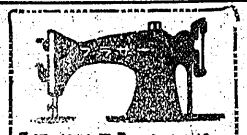
今晩のラジオ

19日

◇NHK　一三六〇RC
六・四五（福）青少年の時間「音楽と島」
七・二〇（郡）ドレミラア大学
八・〇〇 陽気な喫茶店
八・三〇 民謡をたずねて
一〇・一五 お笑いアパート「ひげと女房」並木一郎他
第二七・〇〇 バンドタイム「ボンベ」ほか
九・一五 町のしらべ「山のかなた」
◇ラジオ福島　一〇六〇KC
六・三〇 夕の軽音楽「月も今宵は美しく」ほか
七・一五 坊ちゃん社員
七・三〇 お笑い打出の小槌
八・〇〇 笑いの泉
八・一五 民謡めぐり
八・三〇 霧隠才蔵 小堀明男、小沢栄
九・〇〇 あし原邦子ショー
一〇・二〇 パイプオルガン 独奏伊藤完夫
一〇・四〇 夜のハーモニー

今日の映畫

★平館二十日まで夜6・25 若君逆襲す 霧の第二殘橋
★民劇二十日まで夜7・10 曲馬團の魔王 復讐は俺に任せろ
★聚楽館十九日まで夜6・15 終着駅 鍵を上げて（天）色彩漫画（ブルの父ちゃん）
★ひかり座二十日まで夜6・25 旅がらす次郎長一家 夜ごとの美女
★世界館二十日まで夜6・47 十代の誘惑 怪猫有馬御殿 ディズニイ色彩漫画（リスの冬支度


【最高級品】シンガー　ブラザー　トヨタ　スクラム　バイン
石川ミシン商會
平市2丁目　電1232

新しいDPは富士

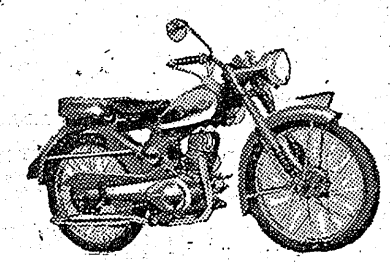
電話新設
2013番
電話を新設いたしましたご利用下さいませ
平市公会堂前　橋本小鳥店

時計の店　根本　平二四六〇

デザインと技術を誇る！
平AD社のネオン
一貫作業による最低費用

銀座街ネオン燈完成（平AD社施工）
平市一の一　三の二　TEL1300

冬の健康に…
新しい
ビタミンとホルモン剤
A　アメリカウインスロツプ製薬
12種綜合ビタミン
ポリトン球　25日量500円
B　アツプジヨン製薬
持続性男性ホルモン注
デポー男性　1箱1850円
御用命は…電3番
西村屋薬局

ホンダ・ベンリー號
月賦販賣開始

130・000円
部品完備　責任ある完全修理
●4サイクル89CC　●免許証不要
●前進三段ミツション　●軽快・堅牢
カブ號60CC販賣開始280・00円部品完備
福島県代理店
新和商事株式會社
平市材木町29（聚楽館前）電977